

GXの推進と地域の産業政策

～経済と環境の循環から考える～

産業構造の転換によって、脱炭素社会の実現を目指しつつ、経済発展も持続していく動きが世界の潮流となっています。自治体としても、ゼロカーボンと親和性が高いGXを推進し、地域の再生可能エネルギーの可能性を引き出す産業政策を打ち出し、事業者等と連携して経済の活性化を図ることが重要です。

この研修では、海外で広がっているグリーンリカバリーなどの考え方を踏まえて、環境と経済の好循環をつくる仕組みや考え方を理解し、産業振興につながる方策を考えます。

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹氏 にコーディネーターを務めていただきます。



【諸富先生からのコメント】

いまや地域発展の成否は、脱炭素化が成功するかどうかにかかっています。企業誘致も、そこで将来、再生可能エネルギーによる100%の電力供給が可能かどうか判断材料になっています。では具体的に何をどうすればよいのか、脱炭素化を通じて地域発展を実現する方途を、本研修で皆様とともに考えたいと思います。

「GX」とは？

産業革命以来の化石エネルギー中心の産業、エネルギー、交通の体系から、非化石燃料への転換、脱炭素製法の導入、温室効果ガスを排出しない交通モードへの転換によって脱炭素社会を構築する取り組みをグリーントランスフォーメーション(GX)といいます。

令和5年度研修受講者の声 ～その後の取組～

- 市の地球温暖化対策実行計画の改定にあたり、研修で学んだ知見を盛り込むことができました。
- 市内事業者等とパートナーシップを構築し、SDGsで定める目標の達成と温室効果ガス排出削減に寄与する新製品開発などの新たなものづくり事業に対する補助金事業を開始予定です。
- 地域内経済循環の視点を持って施策を立案することができるようになりました。地域資源を活かした施策について関係事業者と協議をしています。

開催要領

日 程

令和6年7月31日(水)～8月2日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村等の環境政策、産業政策、企画、公営企業、まちづくり等の業務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,000円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年6月19日(水)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和6年

7月
31日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 我が国のグリーントランスフォーメーション政策について

経済産業省環境経済室

GXに基づく産業政策の全体像について、GXとは何か、その下でどのような産業政策が行われているか、お話しいただきます。

14:25~15:55

基調講義 GXを軸とした地域の産業振興

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

脱炭素社会に向けた取組と地域の産業振興について、その基本的な考え方や背景など、なぜ今GXなのかについてお話しいただきます。

16:10~17:20

事例紹介① ドイツの気候政策と産業政策の連携による地域振興

有限会社Umwertlin 代表 西村 健佑 氏

ドイツの自治体や地域は、気候変動と産業政策をどのように連携させようとしているのか、気候変動政策の推進を通じて地元の産業をどのように振興しているのかについてお話しいただきます。

17:40~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:05~10:35

講義 自治体の産業政策展開の手法

金沢大学融合研究域融合科学系 教授 佐無田 光 氏

自治体の産業政策の展開手法についてお話しいただきます。地域の資源を使いながら、新しく産業を創出するために今自治体は何をすべきか、グリーンリカバリーの視点も含めてご講義いただきます。

10:50~12:00

事例紹介② 北九州市のグリーン成長に向けた取組

北九州市環境局グリーン成長推進部 グリーン成長推進課長 西田 淳哉 氏

産業都市という特性を持ち、市内で排出される温室効果ガスの約6割を産業部門が占める北九州市は、産業の脱炭素化に向けて、2022年2月に「北九州市グリーン成長戦略」を策定。エネルギーの脱炭素化を戦略的に推進し、「環境と経済の好循環」によるグリーン成長の実現を目指している取組についてお話しいただきます。

13:00~14:10

事例紹介③ 木質バイオマスによる脱炭素化と地域の活性化

高知県梶原町森林づくり脱炭素推進課 副課長 石川 智也 氏

梶原町では、木質バイオマス、水力、風力、太陽光など地域の自然エネルギーを有効に活用して、環境や経済における地域課題の解決に取り組んでいます。政府により環境モデル都市や脱炭素先行地域に認定されている梶原町の地域資源利用への取組についてお話しいただきます。

14:25~17:00

演習 GXを軸とした地域の産業政策

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

これまでの講義内容及び先進事例をもとに、グリーンリカバリーを意識した政策展開への見直しや、地域の資源を活用し産業政策につなげる方策等について、グループで検討します。

17:00~

課外学習

9:25~12:00

演習・発表 GXを軸とした地域の産業政策

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただきます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和6年

8月
1日(木)

令和6年

8月
2日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。